

山田研究室



2015年度の研究室の集合写真(留学生が半数以上を占める)

水や環境にまつわる現実の諸問題に真摯に向き合う研究室

大学院理工学研究科都市環境学専攻 博士課程前期課程2年 小石 一宇



理工学部都市環境学科河川・水文化研究室(山田研究室)は、水に関するこ

自然現象のメカニズムを 説明するための現地調査

私たちの研究室では数多くの現地調査を行っている。近年では、

た区域と避難指示等が発令された区域の住民や、京都府福知山市における由

これまでの研究成果



▲ヒアリング調査の様子



▲ベトナムでの流量観測の様子



▲ボートに乗って江戸城外濠の採泥。積極的にフィールドワークに出て現場で観測を行っています



▲土木学会からポスター賞を受賞した際の写真

教員に迫る



理工学部教授 (都市環境学科) やまだ ただし 山田 正

1951年兵庫県生まれ。1977年中央大学大学院理工学研究科博士課程土木工学専攻中退。工学博士(東京工業大学)。

■研究テーマとの出会い

私の個人的な定義ですが、『世の中で困っていることがあって誰もやり手のないもの』を扱う分野が土木工学であるといえます。

■研究室メンバーへ一言アドバイス

私たちのやっていることは、サイエンス(科学)としての興味とエンジニアリング(工学)としての使命の両面からの挑戦ということ。

人が困っていることは全て 研究対象

2011年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故による放射能問題は記憶に新しい。山田研究室では放射性物質の摂取による内部被曝について

2011年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故による放射能問題は記憶に新しい。山田研究室では放射性物質の摂取による内部被曝について